土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

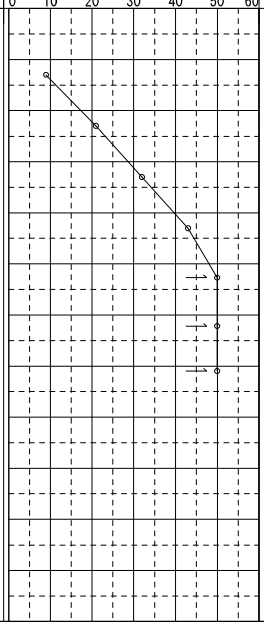
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.1-西ノ谷川支川-切土部	調査位置	広島県安芸郡海田町	北　緯	34° 21′ 18.7299″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年11月20日～ 令和2年11月24日	東　経	132° 33′ 28.5600″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 148.80m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	7.00m	地盤勾配	39° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦DO-D / エンジン：ヤンマーTF90M / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	147.50	1.30		砂		褐	rd2		木根を含む 細～中砂を主体とする 径1cm以下の礫を少量混入する GL-0.50m付近まで細粒土分を10%程度含有する	
2				花崗岩		暗褐			DL級岩盤 上部は風化が著しく進行し土砂状を呈する	
3									全般的に指圧で容易に土砂化する	
4						暗褐灰			造岩鉱物は風化変質、変色している 石英、長石粒が残存する	
5	143.80	5.00		花崗岩		暗褐灰			DM級岩盤 風化が進行し撹乱すると土砂化する 造岩鉱物は風化変色している 石英、長石が径1cm以下に細礫化して多く混在する	
6										
7	141.80	7.00								
8										
9										
10										
11										
12										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
9	1.15	3	3	3	9/300		
	1.45						
21	2.15	5	8	8	21/300		
	2.45						
32	3.15	7	12	13	32/300		
	3.45						
43	4.15	11	14	18	43/300		
	4.45						
50以上	5.15	17	22	11/40	50/240	240	
	5.39						
50以上	6.15	34	16/40		50/140	140	
	6.29						
50以上	7.05	50			50/90	90	
	7.14	90					

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/20
				11/21